我々にしかできない
プロの技術で環境報告書
様々なお客様のニーズに
お応えいたします



株式会社東北ターボ工業



代表挨拶



代表取締役
生内一晶

当社は、産業廃棄物の収集運搬処分と再生、汚泥処理技術を活かした下水道管管理や防水工事、アスベスト・ダイオキシン除去、各種電気工事、グリーストラップ清掃、土木工事を行い、廃棄物処理を通じて、資源再生だけでなく、地域のくらしに密接に関わる事業に取り組んでいます。従来の産業廃棄物減量のための中間処理のみでなく、排出された廃棄物を如何に再生利用すべきかを考え、有機肥料の開発や、埋め戻し材、下層路盤材、路床・路体、防草材にも使えるリサイクル資材を開発をする等、循環型社会形成・環境負荷低減を考えた処理業者とで在るために、全社員一丸となって日々研讃を重ねていきます。当社は安全で快適な生活環境の期待に対し、産業廃棄物処理に求められる技術水準の高度化にいち早く応えてまいりました。それは従来の「処理」という概念から、産業廃棄物処理施設から発生した資源やエネルギーの再活用を図る「循環型社会」に適応した産業廃棄物処理業者への転換です。私たちはこれからも、美しい東北の環境を守り次世代へ伝えるために、循環型社会システムの進化に貢献してまいります。株式会社東北ターボ工業は企業の社会的責任を果たため、企業倫理を守り、法令を遵守し、地域に貢献していく所存です。これからもこの業界の先駆者として、全力で邁進してまいります。

会社概要

会社名	株式会社東北ターボ工業
代表取締役	生内　一晶
所在地	岩手県盛岡市下太田田中1番地2
TEL	019-658-1113
FAX	019-658-1545
URL	www.t-turbo.co.jp
設立	昭和55年(1980年)8月4日
資本金	9,800万円
従業員数	80名
事業内容	産業廃棄物処理、下水道管路管理、超高圧水工事、解体工事、アスベスト・ダイオキシン対策工事、空調ダクト清掃、防水工事、電気工事、土木工事
関連会社	創成商事株式会社、有限会社北日本冷暖房サービス、株式会社インターディメンションズ 、株式会社及川工務店

地域清掃活動実施

株式会社東北ターボは2日間に渡り、40年前より毎年恒例の取り組みとしている、「ゴミ拾い奉仕活動」を実施しました。地域貢献の一環として道路清掃奉仕活動を実施しました。矢巾町より表彰されたこともある伝統の取り組みで、昨年に引き続き南昌道路沿線の矢巾町広宮沢地内、県道矢巾西安庭を中心に道路の清掃活動を実施しました。今後も株式会社東北ターボでは清掃活動を通じて、地域住民の皆様とのコミュニケーションの活性化を図りながら、「社会・環境への貢献」「周辺地域の美化」「社員のCSRへの参加意識向上」に積極的に取り組み、循環型社会の実現と社会の持続的発展に向けて行動してまいります。



地球温暖化対策

株式会社東北ターボ工業は社屋に、ソーラーパネルを設置する工事を行いました。ソーラーパネルはソーラーフロンティア社製(SFK190-S×54枚)、DC出力10.26KW、AC出力9.6KW、年間発電量が10,913KWH、事務所電気使用量の約6割をまかなうことができます。今後も株式会社東北ターボ工業は、循環型社会の実現と社会の持続的発展に向けて行動してまいります。



岩手県再生資源利用認定製品

株式会社東北ターボ工業の開発する「ユニソイル」が岩手県再生資源利用認定製品に認定されました。「ユニソイル」は建設汚泥等から発生する高含水汚泥を脱水せずに造粒固化システムと特殊固化材で水含のまま処理、安定した再生土に改質し再利用可能なリサイクル製品です。埋め戻し材、下層路盤材、路床・路体、防草材などに利用可能で、当該再生材料の使用により、新材消費や廃棄物発生の抑制につながり、製品ライフサイクル全体を通して環境への負荷が少なく環境保全に役立つ製品です。今後も株式会社東北ターボ工業は、循環型社会の実現と社会の持続的発展に向けて行動してまいります。



安全衛生講習会実施

株式会社東北ターボ工業では、毎月安全衛生委員会を開催しています。安全関する対策や安全パトロールの報告など、安全に関する議題を話しあい、大きな事故に繋がらないように努めています。今後も安全には十分配慮し、循環型社会の実現と社会の持続的発展に向けて行動してまいります。





「お客様に信頼と安心を」
それが私たちの想いです

アスベスト工事

社会問題となっているアスベスト（石綿）は建築物の天井や煙突以外にも様々な場所、意外な場所に使われています。最新の機器を備え、担当スタッフの教育訓練も充実し、調査から施工計画、実際の工事からアスベスト廃棄物を適正処理、発注者様への報告を安全且つ丁寧に行ないます。また、建築物の通常使用や解体改修時等のアスベスト飛散・漏洩による健康障害を未然に防止するための、アスベスト含有建材調査を正確に行なうスタッフも揃え対応しております。





下水道管路管理

高圧洗浄車、強力吸引車、調査用テレビカメラ車等、30年以上のキャリアと専門スタッフが最新の機材で、調査から止水・削孔・補修・改築工事、メンテナンスまでワンストップで対応いたします。また、平成27年11月の下水道法改正により、下水道の計画的な維持管理が義務付けられました。発生対応型の維持管理ではなく、様々な機材を使い分け、効率的なデータ蓄積と修繕計画への反映を可能にします。



土木、防水、電気工事

高度経済成長期に集中的に整備された多くのインフラはそのほとんどが更新時期に差し掛かっています。土木工事では、建設汚泥や建設発生土の再資源化から生まれた特殊技術やノウハウ、現場経験を組み合わせ、発注者からの課題をクリアできる施工法を選択し、施工します。
防水工事では、屋上のシート防水から家庭用防水、コンクリート汚水槽の防食工事を得意としています。電気工事では、揚水ポンプの設置、キュービクルの設置、汚水処理設備の計装電気工事等を得意としてご用命を受けております。



土木工事



防水工事



電気工事

拠点概要



本社
〒020-0051 岩手県盛岡市下太田田中1番地2
TEL 019-658-1113 FAX 019-658-1545



管理センター
〒028-3448 岩手県紫波郡紫波町吉水字中村120
TEL 019-673-8211 FAX 019-673-8215



矢巾営業所
〒028-3621 岩手県紫波郡矢巾町広宮沢1-2-113
TEL 019-697-3290 FAX 019-697-5510



仙台支店
〒981-3362 宮城県富谷市日吉台2-24-7
TEL 022-358-1355 FAX 022-358-1307



花巻資材センター
〒028-3163 岩手県花巻市石鳥谷町八幡13地割
TEL FAX



関東支店
〒124-0002 東京都葛飾区西亀有2丁目15-1
TEL 03-6662-7646 FAX 03-6240-7567

会社概要

1978年8月	会社設立
1982年6月	産業廃棄物処理施設完成
1982年6月	土木工事業開始
1983年8月	下水道維持管理業開始
1985年7月	防水工事業開始
1985年7月	堆肥製造開始
1988年8月	アスベスト・ダイオキシン処理事業開
1989年4月	仙台営業所開設
1992年4月	空調ダクトクリーニング事業開始
2004年6月	電気工事業開始
2012年10月	特定建設業へ昇格
2019年5月	創成商事株式会社の完全子会社化
2019年8月	有限会社北日本冷暖房サービスの完全子会社化
2021年2月	株式会社インターディメンションズの完全子会社化
2021年4月	関東支店開設
2021年6月	基準適合産業廃棄物処理業者認定証(★★)取得
2021年9月	株式会社及川工務店の完全子会社化
2022年3月	岩手県再生資源利用認定製品認定証(ﾕﾆ･ｿｲﾙ)取得



運搬車両

産業廃棄物の収集運搬車両は、新型の大型バキューム車から強力吸引車、アームロール車、深塵介車まで幅広く用意しています。また、収集・運搬においては、産業廃棄物の飛散・流出防止、悪臭・騒音・振動対策として、産業廃棄物の種類等に合わせた収集運搬車、保管容器を選択し、地域に安心してお任せ頂けるように取り組んでいます。



大型吸引車



3ｔ吸引車



大型ダンプ



3 ｔユニック車



6ｔアームロール



10ｔアームロール



2 ｔ箱車



3ｔトラック車

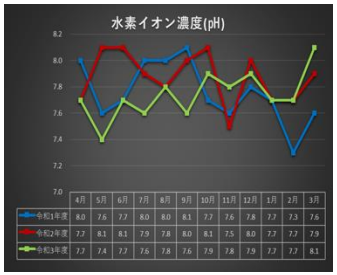


バン

水質検査結果

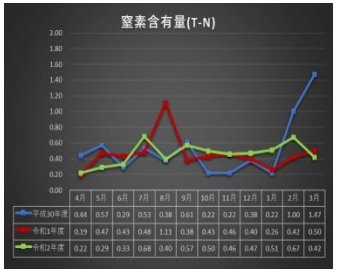
汚泥などを処理した際に発生する排水を水処理施設にて処理を行い、グラフは放流する際の水を分析した結果になります。「水素イオン濃度」とは、水溶液中の酸性・アルカリ性を示す物理量。「生物化学的酸素要求量」とは、水質指標のひとつであり、水中の有機物などの量を、微生物が分解するために必要とする酸素の量。「化学的酸素要求量」とは、水質指標のひとつであり、水中の被酸化性物質を酸化するために必要とする酸素の量。「浮遊物質量」とは、水の汚染度を示す指標で、水中に浮遊・懸濁している固形物の量。「窒素含有量」とは、水中などに含まれる窒素の量で、量が多いとプランクトンの著しい増殖をもらたす恐れがあります。管理目標基準値は水素イオン濃度(5.8～8.6)、生物化学的酸素要求量(60mg/ℓ以下)、化学的酸素要求量(90mg/ℓ以下)、浮遊物質量(60mg/ℓ以下)、窒素含有量(120mg/ℓ以下)で管理します。水質検査の結果としては、全ての項目で基準値より大きく下回っており、ここ数年でも安定した数値となっております。





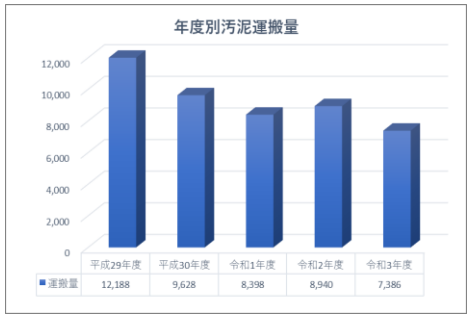








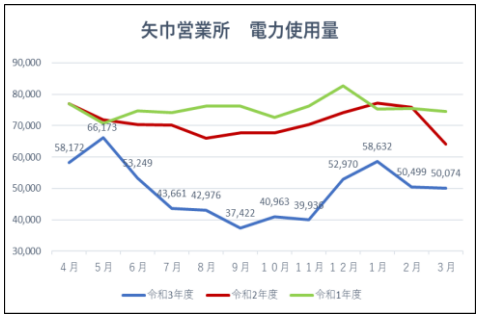
運搬・処分実績





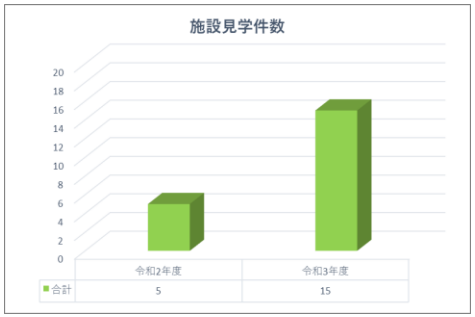
汚泥の運搬・処分量を示したグラフになります。運搬量は、令和3年度で7,386ｔとなりました。ここ5年間で一番運搬量が少なくなっております。最近では、他社での持込が多くなり自社の運搬量が減っているのが原因の1つと考えております。処分量は、令和3年度で20,210ｔとなりました。ここ5年間で一番処分量が多くなっております。内訳としては、建設汚泥が多く出る仕事に携わる事ができた事で、造粒固化処理が他の沈殿分離処理、発酵堆肥処理に比べて圧倒的に多く取り扱った事が原因の1つです。

電気使用量



処理施設で使用している電気使用量を示したグラフになります。令和3年度では、施設の稼働方法などを見直し、過去2年間に比べても大幅に抑える事が出来ました。これを維持できる様にこれからも取り組んでいきます。

施設見学件数



処理施設に見学に来ていただいた件数を示したグラフになります。依然コロナ化ではありますが、前年に比べて来社される方が増えてきました。感染症対策には十分ご協力をいただき、施設の内容をご理解をいただければと思います。

グリストラップ清掃

「グリストラップ」とは、厨房からのゴミや油脂を含んだ排水を、そのまま流さず、分離・収集する槽のことです。飲食店等、全ての厨房その他の調理場には、グリストラップの設置が義務付けられています。（建築省告示第1597号）株式会社東北ターボ工業では、盛岡、北上、八幡平、雫石、滝沢、花巻エリアの飲食店などにあるグリストラップの清掃、清掃時に回収した油泥、残渣（産業廃棄物）の処理まで、一括して行います。グリストラップ清掃を怠ると、不衛生で雑菌が繁殖し、ネズミやゴキブリなどが棲みついたり、何となくドブ臭いような悪臭が漂うようになることもありますので、定期的な清掃が必要です。 また、お店同士が隣接している、車両を止める道路が目の前にない等、難しい場所でも対応できる技術と設備を有していますので、気軽にご相談ください。

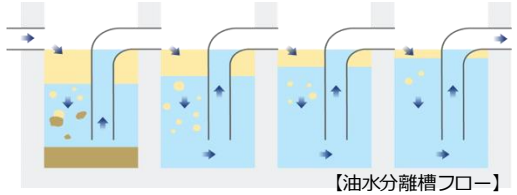






油水分離槽清掃

油水分離槽とは、ガソリンスタンドや工場等に設置してある連続型の桝で、油の特性である水より軽い密度を利用して浮いた油は留め置き、水だけを次の槽に流す事を3回～4回繰り返すことにより、油を施設外に放出しないための構造物で、定期的な清掃と回収が必要です。槽を経由することにより油が浮き、泥・ゴミが沈み、汚濁負荷の減った排水が下水道に流れます。下水道に油が流出すると下水管内での火災が起きたり、下水処理機能の阻害を引き起こす恐れがあるので、定期的に検査をし、溜まった泥やゴミを取りのぞきます。定期的な清掃により、油水分離槽からの油分が河川に流出することを防ぎます。例年、田植えの始まる頃や梅雨の季節（3月～6月）には油水分離槽が溢れ、油が流出する事故が多発しています。油流出事故による緊急対応等で多額の費用のご負担をなくすため、計画的な作業のご依頼をお勧めいたします。


【油水分離槽フロー】









「お客様に信頼と安心を」
それが私たちの想いです



無機汚泥の沈殿分離施設

無機汚泥を沈殿分離、活性汚泥、脱水などの中間処理工程を経て、汚泥の容積を減らし（減容化）、衛生的で取扱いやすい状態にし、中間処理の後、セメント工場へサーマルリサイクルとして、セメント原料などとして再生利用を実現しています。



無機汚泥の造粒固化施設

無機の含水汚泥を脱水などをせずに造粒固化施設にて再生資源化（ユニソイル）し、埋め戻し材、下層路盤材、路床・路体、防草材などに再利用いたします。含水率20～80%の汚泥を含水状態のまま特殊固化材（セメント系・高吸水剤）を添加して造粒し、高品質な改良土にするものです。





有機汚泥の発酵堆肥処理施設

脱水汚泥及び高含水汚泥の有機汚泥を、微生物活性などにより発酵させ、処理いたします。発酵後の有機汚泥は堆肥工場へサーマルリサイクルとして、堆肥原料などとして再生利用しています。







管理型の埋立処分場

本来は、燃え殻、汚泥、廃プラスチック類などを受入する事が出来ますが、現在は管理型の埋立処分場は、中間処理施設の故障や緊急時などを除き、原則、受け入れをしておりません。



事業内容

当社は、産業廃棄物の収集運搬処分と再生、汚泥処理技術を活かした下水道管管理や防水工事、アスベスト・ダイオキシン除去、各種電気工事、グリーストラップ清掃、土木工事を行い、廃棄物処理を通じて、資源再生だけでなく、地域のくらしに密接に関わる事業に取り組んでいます。事業者から排出される産業廃棄物を、性状に合わせた車両での運搬し、沈殿分離処理、活性汚泥処理、脱水処理、中和処理、発酵堆肥処理、移動式脱水施設による脱水処理、造粒固化施設による固化処理、埋立処分にて処理いたします。沈殿分離処理、移動式脱水施設による脱水処理については、汚泥を取扱い、中間処理後はセメント原料などにリサイクルされます。活性汚泥処理、脱水処理、発酵堆肥処理については、汚泥、動植物性残さ、動物のふん尿を取扱い、中間処理後は堆肥に製造されます。造粒固化施設による固化処理については、汚泥を取扱い、中間処理後は造粒製品（ユニソイル）に製造されます。中和処理については、廃酸、廃アルカリを取扱い、中間処理後は排水処理施設を経て放流されます。埋立処分については、燃え殻、汚泥、廃プラスチック類、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、鉱さい、がれき類、ばいじん、産業廃棄物を処分するために処理したものを取扱い、管理型埋立処分場にて処分されます。株式会社東北ターボは企業の社会的責任を果たすため、企業倫理を守り、法令を遵守し、地域に貢献していく所存です。これからもこの業界の先駆者として、全力で邁進してまいります。

処理能力、構造及び設備の概要

沈殿分離及び活性汚泥処理、脱水処理、中和処理施設
・処理能力
　沈殿分離及び活性汚泥処理：30㎥／日
　脱水処理：8㎥／日
　中和処理施設：6㎥／時間
・構造及び設備の概要：処分のための保管設備、処理施設、処分後の保管設備
発酵堆肥処理施設Ⅰ
・処理能力：30㎥／日
・構造及び設備の概要：処分のための保管設備、処理施設、処分後の保管設備
発酵堆肥処理施設Ⅱ
・処理能力：13.24㎥／日
・構造及び設備の概要：処分のための保管設備、処理施設、処分後の保管設備
移動式脱水施設
・処理能力：100㎥／日
・構造及び設備の概要：処理施設
造粒固化施設
・処理能力：120㎥／日
・構造及び設備の概要：処分のための保管設備、処理施設、処分後の保管設備
埋立施設（管理型）
・処理能力：12,424.00㎥／日
・構造及び設備の概要：地下水検査設備、浸透水採取設備、調整池、水処理施設など

維持管理計画

排出事業場、種類、数量、性状等について、契約している内容と相違がないか、マニフェスト伝票、計量証明書及び目視等で確認を行う。また計量については、場内のトラックスケールにて行う。受入廃棄物は、それぞれの性状にあった保管庫にて保管し、施設を定期的に保守点検する。施設の周囲に囲いを設け、産業廃棄物が飛散・流出・地下浸透、悪臭が発散しないように努めます。特に飛散、悪臭の発生する恐れのあるものについては、必要に応じて消臭剤等も使用する。また、必要に応じて最小限の殺鼠剤、殺虫剤を散布し、害虫等の発生を予防する。
振動・騒音振動については発生が少ない施設ですが、状況に応じて防音壁や防振マット等を使用する。粉じんについては状況に応じて散水などにより粉じんを防止する。